

<R01-No16 : 地形測量 : 問題>

次の a～c の文は、地上レーザスキャナを用いた地形測量及び地上レーザスキャナを用いた三次元点群データ作成について述べたものである。[ア] ～ [エ] に入る語句の組合せとして最も適当なものはどれか。次の中から選べ。

- a. 地形測量では、地上レーザスキャナで取得された高密度の標高値群とその [ア] を基に地物などを描画していく。
- b. 三次元点群データ作成とは、[イ] から地形を捉えられなかった点を除去していき、地形を表現する標高値の集合を作成することである。
- c. 航空レーザ測量では、上空から地上に向けて [ウ] を照射するため、[エ] によって地表面を識別できる。そのため、電線や樹木といった数値地形図データ作成に不必要な情報を自動的に除去しやすい。一方で、地上レーザ測量では、不必要な情報は [エ] のみによっては自動的に除去することが比較的難しいため、地上レーザ測量の対象地域は [ウ] を遮るものが少ない地域に限定することが望ましいと考えられる。

	ア	イ	ウ	エ
1.	波長	三次元観測データ	ラストリターンパルス	レーザ光
2.	波長	数値地形モデル	レーザ光	ラストリターンパルス
3.	反射強度	三次元観測データ	レーザ光	ラストリターンパルス
4.	反射強度	三次元観測データ	ラストリターンパルス	レーザ光
5.	反射強度	数値地形モデル	レーザ光	ラストリターンパルス